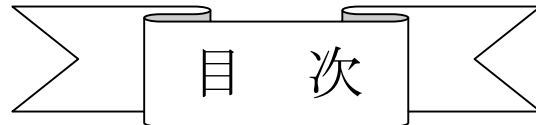


多様な主体との協働に関する調査結果報告  
(令和5年度実施事業等)

令和6年10月

市民生活部市民協働課



# 目次

○ 多様な主体との協働に関する調査について	2
○ 調査結果の概要	2
1 「新潟市総合計画 2030」の政策指標とする協働	3
(1) 指標の定義・説明	3
(2) 政策指標対象項目に関する分析結果	4
2 全体調査結果	9
(1) 協働形態	9
(2) 活動分野	11
(3) 協働の相手方	13
(4) 事業主体	15
(5) 費用負担	16
(6) 新規・継続の別	17
(7) 経緯	18
(8) 区の課題解決	19
○ 協働形態別件数一覧【別表 1】	20
○ 活動分野別件数一覧【別表 2】	21

## ○ 多様な主体との協働に関する調査について

急激な人口減少や少子・高齢化などを背景に多様化する地域課題に対し、行政だけの取り組みでは十分な市民満足度を得ることが難しくなっていることから、多様な主体との協働による取り組みを推進する必要性が高まっています。

本調査は、市役所全体で多様な主体との協働事業がどのくらい行われているかを数値として捉え、さらなる協働の推進に活用していくためのもので、平成20年度から継続的に実施しています。

多様な主体との協働数は「新潟市総合計画 2030」において、本市のまちづくりにおけるパートナーシップの推進状況を測る政策指標に設定され、これまで以上に重要度の高い調査として位置付けられています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、協働数がほぼコロナ禍前の水準に回復する結果となりました。実施された協働事業について、調査結果がまとまりましたので報告します。

<参考：多様な主体とは>

- ・地域コミュニティ協議会、自治会・町内会等の地域自治組織
- ・NPO、NPO 法人
- ・社会福祉法人、社団・財団などの公益法人
- ・企業、各種学校
- ・その他行政以外のすべての団体

<参考：協働の際の留意点>

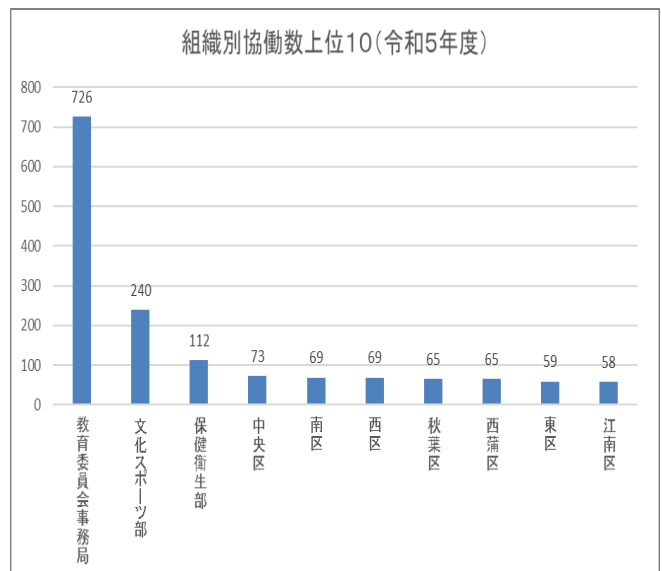
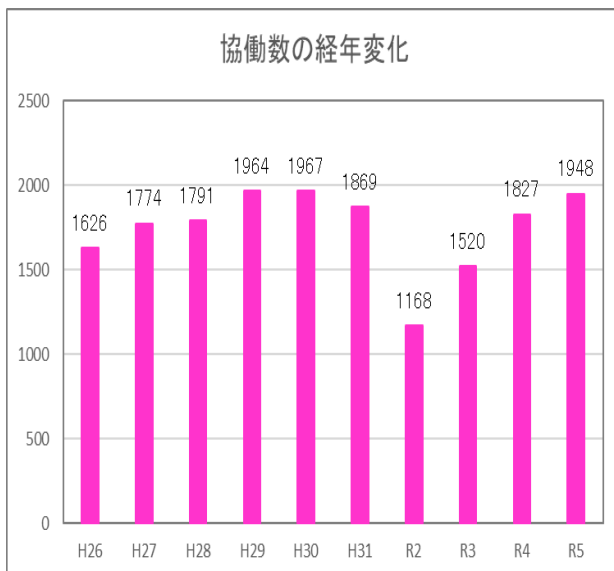
- ・誰となぜ協働するのか、必要性を明確化すること
- ・相手方との目的・成果の共有
- ・取り組みの評価と見直しによりさらに効果的な取り組みにつなげる

<参考：「新潟市総合計画 2030」とは>

- ・令和5年度から令和12年度までの8年間の計画であり、新潟市のまちづくりの方向性を示す、本市の最上位計画に位置付けられている

## ○ 調査結果の概要

令和5年度 協働事業：1,948 事業 ※前年度比 +6.6%



# 1 「新潟市総合計画 2030」の政策指標とする「協働」

政策指標対象項目

## (1) 指標の定義・説明

「新潟市総合計画 2030」において、本市が多様な主体と協働して行う事業のうち、右の 5 つに分類される形態で協働するものの件数を、パートナーシップの推進状況を測る政策指標に設定しています。

また、上記を全体数とし、そのうち、各区役所が区の課題解決に向けて地域団体など多様な主体と協働して取り組んだ数を、多様な主体と一体となって区政を推進していることを表す指標としています。

- ① 意見交換
- ② 企画立案への参加
- ③ 事業協力
- ④ 実行委員会・協議会
- ⑤ 共催

<参考：政策指標名>

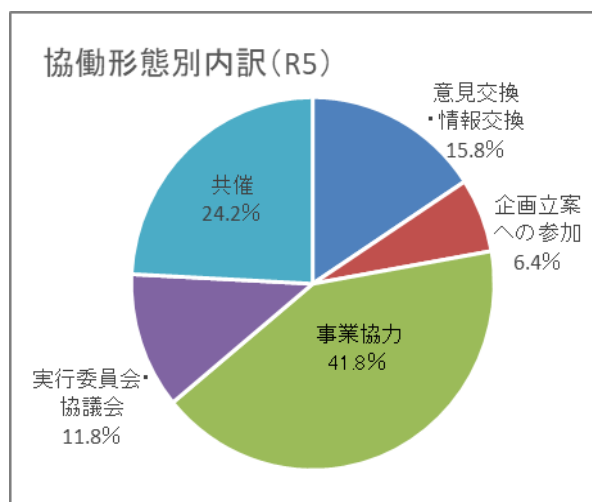
「地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数」(全体・うち区役所が進めた取組数)

## 【政策指標の進捗状況】

	策定時点 (令和 4 年度) ※データは令和 3 年度実績	今回調査 (令和 5 年度)		中間目標 (令和 8 年度)	最終目標 (令和 12 年度)
		目標	実績		
全体	644 件	800 件	856 件	1,000 件	1,300 件
うち(区役所)	196 件	240 件	285 件	300 件	400 件

## 【協働形態別内訳】

協働の種類		H31	R2	R3	R4	R5
指標 対象 項目	意見交換・情報交換	56	37	101	128	135
	企画立案への参画	30	26	40	49	55
	事業協力	298	235	266	348	358
	実行委員会・協議会	133	74	80	88	101
	共催	283	148	157	166	207
	計	800	520	644	779	856



政策指標「地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数」は、策定時から全体で 212 件増加し、目標値としていた 800 件を達成することができました。

協働形態別内訳でコロナ禍前と比較すると、“意見交換・情報交換”、“企画立案への参画”、“事業協力”は増加傾向にあります。

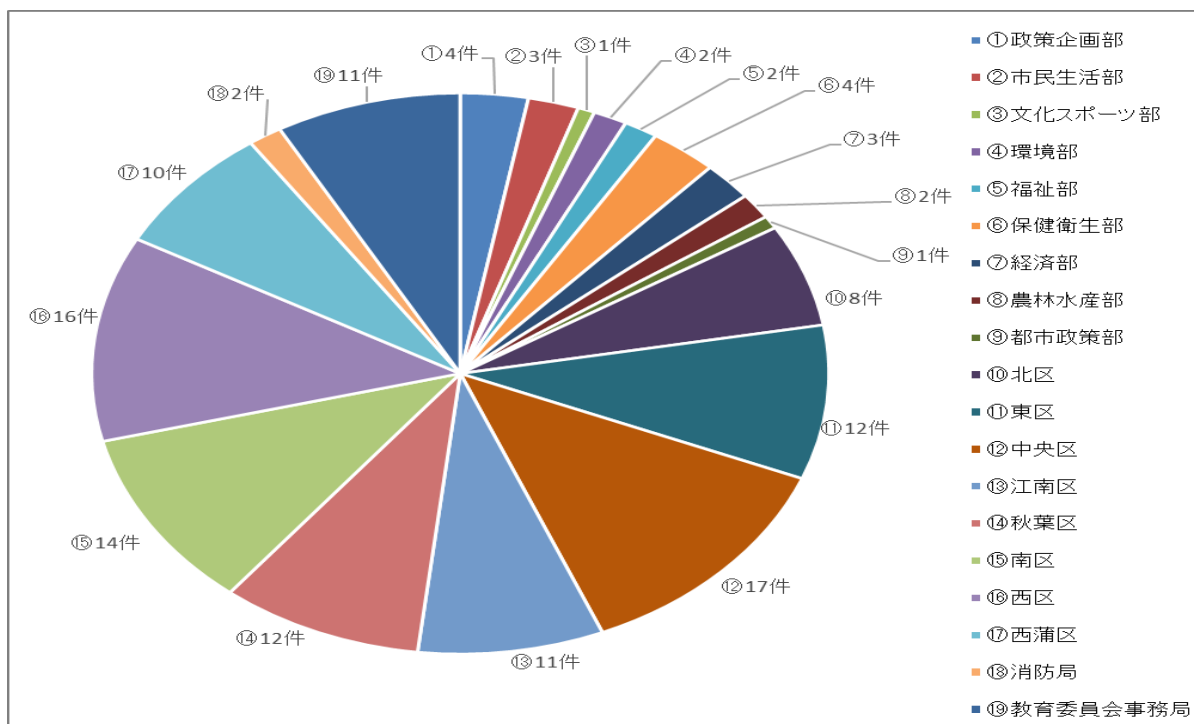
また、これまで減少していた“共催”が大幅に回復するなど、協働形態に偏りなく増加した結果、コロナ禍前を上回る実績となりました。

引き続き、各事業において最適な協働形態を取り入れながら、多様な主体との協働を市役所全体で推進していきます。

## (2) 政策指標対象項目に関する分析結果

①意見交換・情報交換 (R5 年度実績：135 件 対前年調査：7 件増加)

### ■組織別内訳



### ■活動分野別内訳

活動分野	R5	R4
①保健、医療、福祉	9 件	9 件
②社会教育の推進	0 件	0 件
③まちづくりの推進	97 件	88 件
④文化、スポーツ	1 件	0 件
⑤環境の保全	2 件	2 件
⑥災害救済	3 件	2 件
⑦地域安全	0 件	1 件
⑧人権擁護、平和推進	0 件	1 件
⑨国際協力	0 件	0 件
⑩男女共同参画社会	2 件	2 件
⑪子どもの健全育成	11 件	10 件
⑫情報化社会の発展	0 件	0 件
⑬科学技術の振興	0 件	0 件
⑭経済活動の活性化	7 件	8 件
⑮職業、雇用支援	0 件	0 件
⑯消費者保護	0 件	3 件
⑰観光の振興	0 件	0 件
⑱農村漁村又は中山間地域の振興	0 件	0 件
⑲団体の運営支援	3 件	2 件

### ■組織別トップ 5

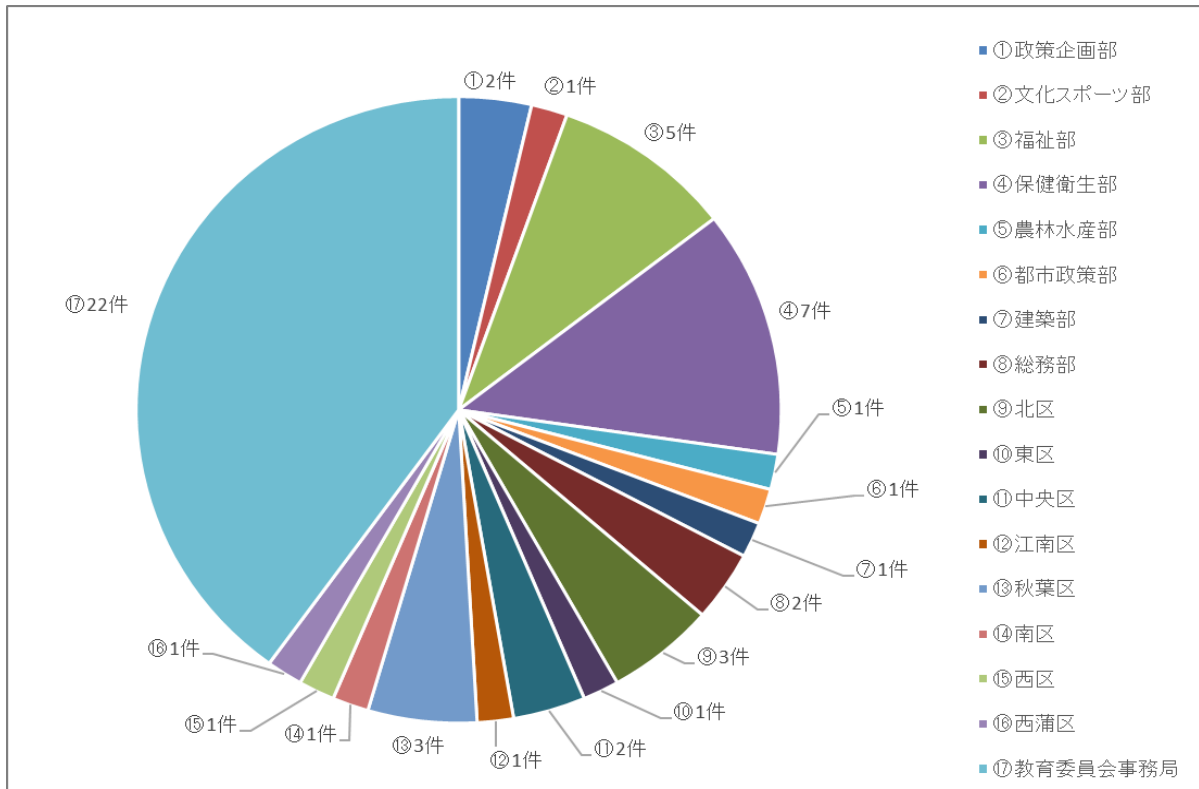
- 第 1 位：中央区 (17 件)
- 第 2 位：西 区 (16 件)
- 第 3 位：南 区 (14 件)
- 第 4 位：秋葉区 (12 件)
- 第 4 位：東 区 (12 件)

組織別では、全 135 件のうち 100 件が区役所によるもので、全体の約 7 割を占める結果となりました。

活動分野別では、“まちづくりの推進”が 97 件で最多となっており、地域コミュニティ協議会との意見交換の場として各区で実施している「区政懇談会」などが挙げられます。また、「にいがた 2 km」や鳥屋野潟の活用に向けたワークショップ、地域で活躍する人材をつなぐ「人材ネットワーク化事業」をはじめ、各区の特色を活かした事業も含まれています。

②企画立案への参画（R5 年度実績：55 件 対前年調査：6 件増加）

■組織別内訳



■活動分野別内訳

活動分野	R5	R4
①保健、医療、福祉	15 件	11 件
②社会教育の推進	8 件	7 件
③まちづくりの推進	17 件	22 件
④文化、スポーツ	4 件	1 件
⑤環境の保全	0 件	0 件
⑥災害救済	1 件	0 件
⑦地域安全	1 件	0 件
⑧人権擁護、平和推進	1 件	1 件
⑨国際協力	0 件	0 件
⑩男女共同参画社会	0 件	0 件
⑪子どもの健全育成	5 件	4 件
⑫情報化社会の発展	0 件	0 件
⑬科学技術の振興	0 件	0 件
⑭経済活動の活性化	1 件	0 件
⑮職業、雇用支援	0 件	0 件
⑯消費者保護	0 件	0 件
⑰観光の振興	0 件	0 件
⑱農村漁村又は中山間地域の振興	0 件	0 件
⑲団体の運営支援	2 件	3 件

■組織別トップ 5

- 第 1 位：教育委員会事務局 (22 件)
- 第 2 位：保健衛生部 (7 件)
- 第 3 位：福祉部 (5 件)
- 第 4 位：北 区 (3 件)
- 第 4 位：秋葉区 (3 件)

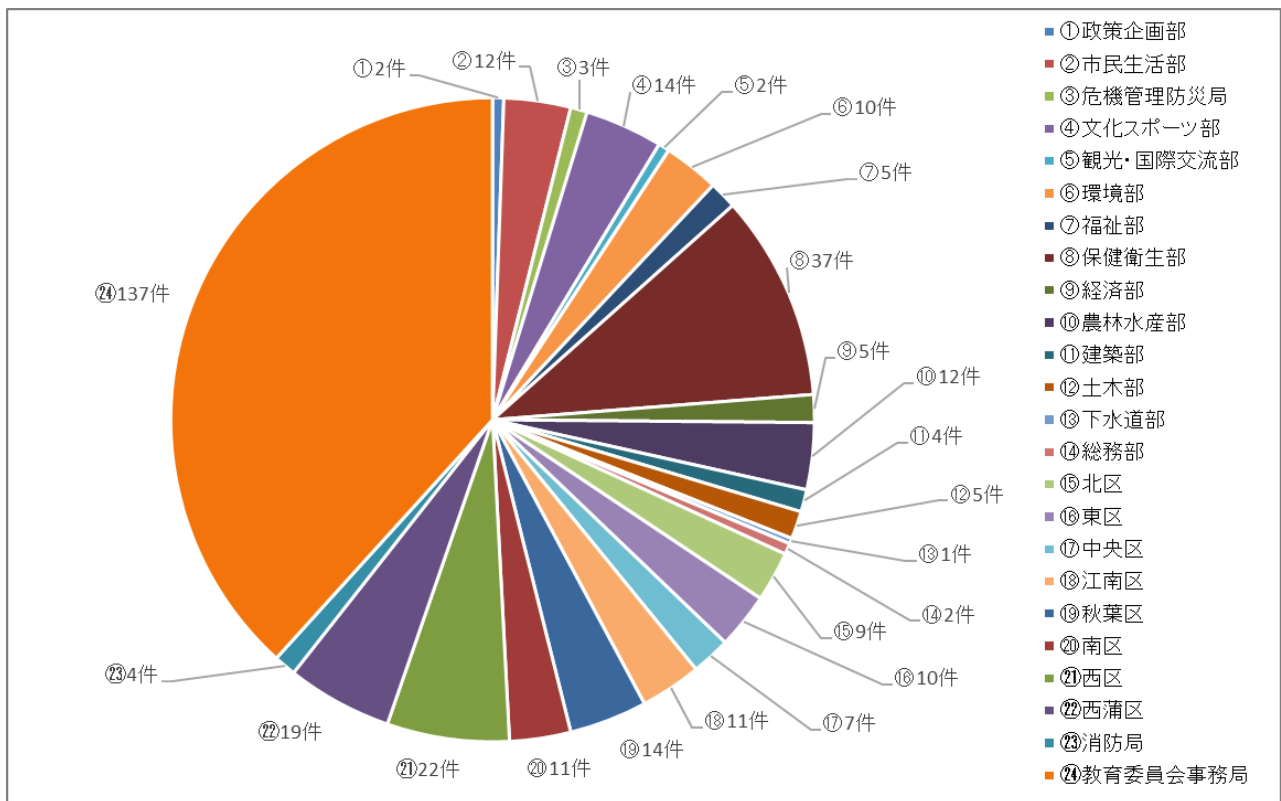
組織別では、教育委員会事務局が 22 件で最多となりました。

活動分野については、区自治協議会提案事業や新潟市の産学官と地域が連携した「まちなかの魅力創出事業」など“まちづくりの推進”が 17 件で最多となりました。

続いて、保健衛生部や農林水産部が実施している地域医療推進会議や新潟市食育推進会議など“保健、医療、福祉”が 15 件、教育委員会事務局が実施している社会教育委員会会議など“社会教育の推進”が 8 件となりました。

③事業協力（R5 年度実績：358 件 対前年調査：10 件増加）

■組織別内訳



■活動分野別内訳

活動分野	R5	R4
①保健、医療、福祉	68 件	60 件
②社会教育の推進	32 件	26 件
③まちづくりの推進	45 件	47 件
④文化、スポーツ	47 件	44 件
⑤環境の保全	26 件	27 件
⑥災害救済	9 件	9 件
⑦地域安全	25 件	29 件
⑧人権擁護、平和推進	3 件	3 件
⑨国際協力	1 件	1 件
⑩男女共同参画社会	3 件	5 件
⑪子どもの健全育成	56 件	59 件
⑫情報化社会の発展	8 件	6 件
⑬科学技術の振興	0 件	0 件
⑭経済活動の活性化	16 件	11 件
⑮職業、雇用支援	1 件	2 件
⑯消費者保護	6 件	9 件
⑰観光の振興	5 件	5 件
⑱農村漁村又は中山間地域の振興	3 件	2 件
⑲団体の運営支援	4 件	3 件

■組織別トップ 5

- 第 1 位：教育委員会事務局（137 件）
- 第 2 位：保健衛生部（37 件）
- 第 3 位：西 区（22 件）
- 第 4 位：西蒲区（19 件）
- 第 5 位：文化スポーツ部（14 件）
- 第 5 位：秋葉区（14 件）

組織別では、教育委員会事務局が最多の 137 件となっており、約 4 を占める結果となりました。

活動分野については、“保健、医療、福祉”が 68 件で最多となっており、各区社会福祉協議会との協働事業、保健衛生部が実施している減塩メニューの開発販売等の健康増進事業が挙げられます。

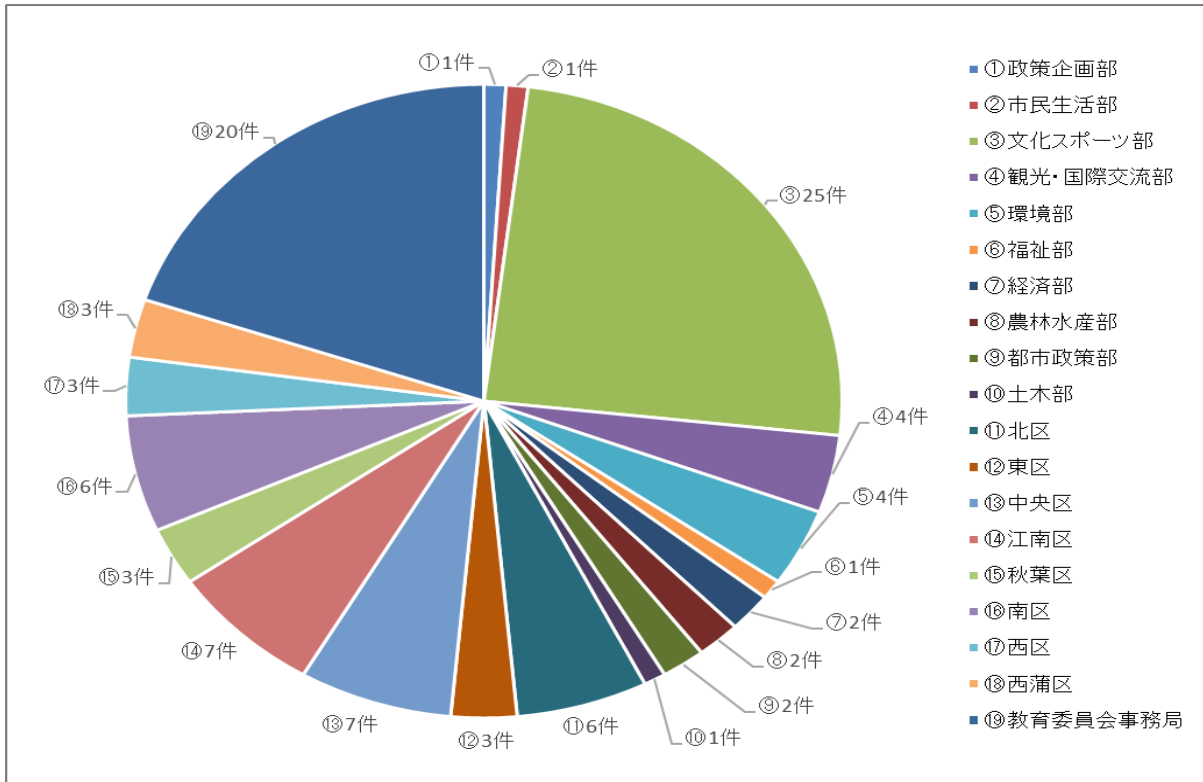
続いて、主に公民館や図書館が実施している“子どもの健全育成”が 56 件、“文化、スポーツ”が 47 件となりました。



④実行委員会・協議会（R5 年度実績：101 件

対前年調査：13 件増加）

■組織別内訳



■活動分野別内訳

活動分野	R5	R4
①保健、医療、福祉	3 件	3 件
②社会教育の推進	2 件	2 件
③まちづくりの推進	9 件	9 件
④文化、スポーツ	42 件	37 件
⑤環境の保全	9 件	5 件
⑥災害救済	2 件	2 件
⑦地域安全	1 件	1 件
⑧人権擁護、平和推進	0 件	0 件
⑨国際協力	2 件	1 件
⑩男女共同参画社会	1 件	1 件
⑪子どもの健全育成	3 件	2 件
⑫情報化社会の発展	0 件	0 件
⑬科学技術の振興	0 件	0 件
⑭経済活動の活性化	11 件	11 件
⑮職業、雇用支援	1 件	1 件
⑯消費者保護	0 件	0 件
⑰観光の振興	11 件	8 件
⑱農村漁村又は中山間地域の振興	2 件	2 件
⑲団体の運営支援	2 件	3 件

■組織別トップ 5

- 第 1 位：文化スポーツ部（25 件）
- 第 2 位：教育委員会事務局（20 件）
- 第 3 位：中央区（7 件）
- 第 3 位：江南区（7 件）
- 第 5 位：北 区（6 件）
- 第 5 位：南 区（6 件）

組織別では、文化スポーツ部が最多の 25 件となりました。

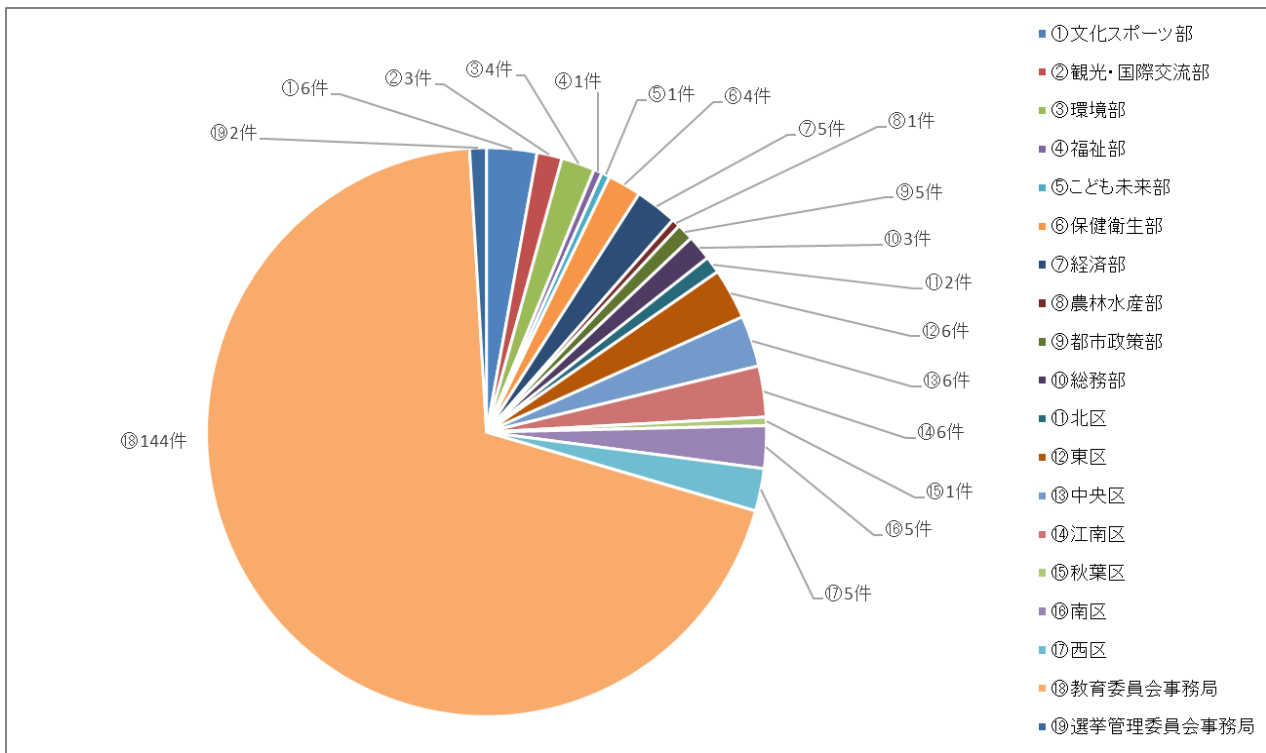
活動分野においても、マンガ・アニメを題材にした新規イベントや毎年開催しているスポーツイベントにより、“文化、スポーツ”が 42 件で最多となりました。

続いて、新潟まつりや白根大凧合戦などの“観光の振興”が 11 件、各区産業振興課による地域商業の賑わい創出や特産品の PR 及び販路・消費拡大に向けた“経済活動の活性化”が 11 件となりました。



⑤共催（R5 年度実績：207 件 対前年調査：41 件増加）

■組織別内訳



■活動分野別内訳

活動分野	R5	R4
①保健、医療、福祉	15 件	15 件
②社会教育の推進	35 件	28 件
③まちづくりの推進	14 件	15 件
④文化、スポーツ	65 件	51 件
⑤環境の保全	5 件	2 件
⑥災害救済	1 件	3 件
⑦地域安全	10 件	10 件
⑧人権擁護、平和推進	9 件	11 件
⑨国際協力	4 件	1 件
⑩男女共同参画社会	0 件	0 件
⑪子どもの健全育成	36 件	20 件
⑫情報化社会の発展	5 件	3 件
⑬科学技術の振興	1 件	0 件
⑭経済活動の活性化	5 件	4 件
⑮職業、雇用支援	1 件	1 件
⑯消費者保護	0 件	0 件
⑰観光の振興	0 件	0 件
⑱農村漁村又は中山間地域の振興	0 件	0 件
⑲団体の運営支援	1 件	2 件

■組織別トップ5

- 第1位：教育委員会事務局（144 件）
- 第2位：文化スポーツ部（6 件）
- 第2位：東 区（6 件）
- 第2位：中央区（6 件）
- 第2位：江南区（6 件）

組織別では、教育委員会事務局が144件で最多となり、約7割を占める状況となりました。

活動分野については、“文化、スポーツ”が65件、“子どもの健全育成”が36件、“社会教育の推進”が35件となっており、3つの分野における協働事業の8割以上が教育委員会事務局、主に公民館の所管となりました。

前回から大幅に増加した“文化、スポーツ”、“子どもの健全育成”においても、公民館が実施している多世代交流を目的とした親子向けイベントなどが挙げられています。

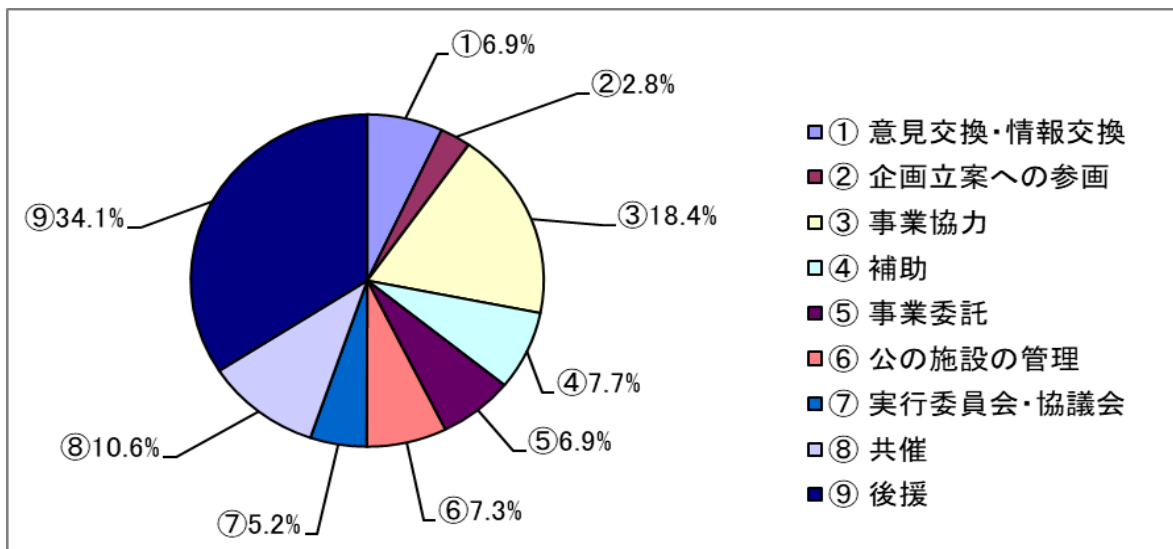
## 2 全体調査結果

### (1) 協働形態

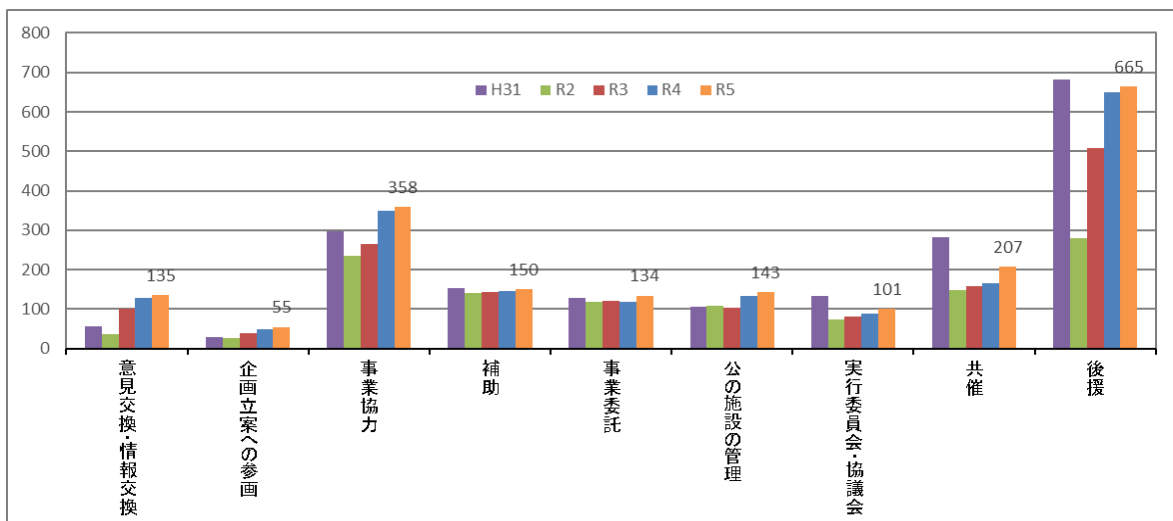
協働形態については、全ての形態が前年と比べ増加しており、コロナ禍に大幅に減少した“共催”は前年と比べ41件増加し、207件となりました。

また、“意見交換・情報交換”、“企画立案への参画”、“事業協力”はコロナ禍前を上回る実績まで増加しており、“意見交換・情報交換”については、全135件のうち100件が区役所による協働数となっています。

① 意見交換・情報交換	135	6.9%
② 企画立案への参画	55	2.8%
③ 事業協力	358	18.4%
④ 補助	150	7.7%
⑤ 事業委託	134	6.9%
⑥ 公の施設の管理	143	7.3%
⑦ 実行委員会・協議会	101	5.2%
⑧ 共催	207	10.6%
⑨ 後援	665	34.1%



### 【経年変化】



協働の形態	事業等の内容
1. 意見交換・ 情報交換	<p>多様な主体と行政の双方が情報交換や意見交換を行うことにより、住民ニーズや行政サービスなど地域の様々な課題について共有を図る。</p> <p>事業検討の前段階として、政策全体や分野ごとに、協働の提案を受けたり、フォーラムやワークショップなどにより課題を集約する。</p> <p>フォーラムやワークショップ等を開催せずとも、市民や地域団体からの意見・要望・指摘をもとに各課所管の事業を行った場合、その市民からの意見・要望・指摘も「1. 意見交換・情報交換」とみなす。</p>
2. 企画立案 への参画	<p>行政が事業の企画立案や施策の原案を立案するに当たり多様な主体から意見や提案を受け、多様な主体の特性や専門性などの能力を活かす。</p> <p>行政が、審議会、各種委員会などで、意見を聴きその意見を反映させる方法や企画コンペ方式で政策や事業提案を受ける。</p> <p>審議会や各種委員会に限らず、行政が事業の企画立案にあたり、多様な主体の特性や専門性を活かした意見を聴取するために実施した事業は、「2. 企画立案への参画」に分類。</p>
3. 事業協力	<p>多様な主体と行政で互いのノウハウや資源を出し合い事業協力する。</p> <p>共通目的のもと役割分担をして実施する。また、一方がもう一方の活動を後方支援する。</p>
4. 補助	<p>事業の実施主体は補助を受ける多様な主体で、事業の実施責任も補助を受けた多様な主体の側にある。（地域活動や公益事業に対する補助金等（運営補助金も含む））</p> <p>イベントの運営補助など人的支援の場合は、「3. 事業協力」に分類。</p>
5. 事業委託	<p>受託者（多様な主体）が発注者（行政）の要求に応えるだけでなく、当該事業等に対して、お互いに意見を出し合いながら進める事業委託。</p>
6. 公の施設 の管理	<p>公の施設の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときに、法人その他の団体に当該公の施設の管理を行ってもらう。（指定管理者制度導入施設）</p>
7. 実行委員会 ・協議会	<p>行政と多様な主体が新しい一つの組織を立ち上げ、そこが主催者となって事業を行う。（まつり実行委員会、〇〇イベント実行委員会等）</p>
8. 共催	<p>それぞれが主催者となって共同で一つの事業を行う。事業の実施責任や成果は構成するそれぞれの主体が共有する。</p> <p>市が具体的な業務を担う場合のみ、「8. 共催」に分類。共催の位置づけで実施する事業であっても、市の役割が名義使用承認や会場の無料貸しなどのみで、事業実施における具体的な業務が伴わない場合は、「9. 後援」に分類。</p>
9. 後援	<p>多様な主体が行う事業で、行政にとってもその実施が行政の目的と合致する場合、行政の後援名義の使用を認めて、事業を支援する。</p> <p>市の名義使用承認だけにとどまらず、市に具体的な業務があり、ともに事業を実施するものについては、「8. 共催」に分類</p>

## (2) 活動分野

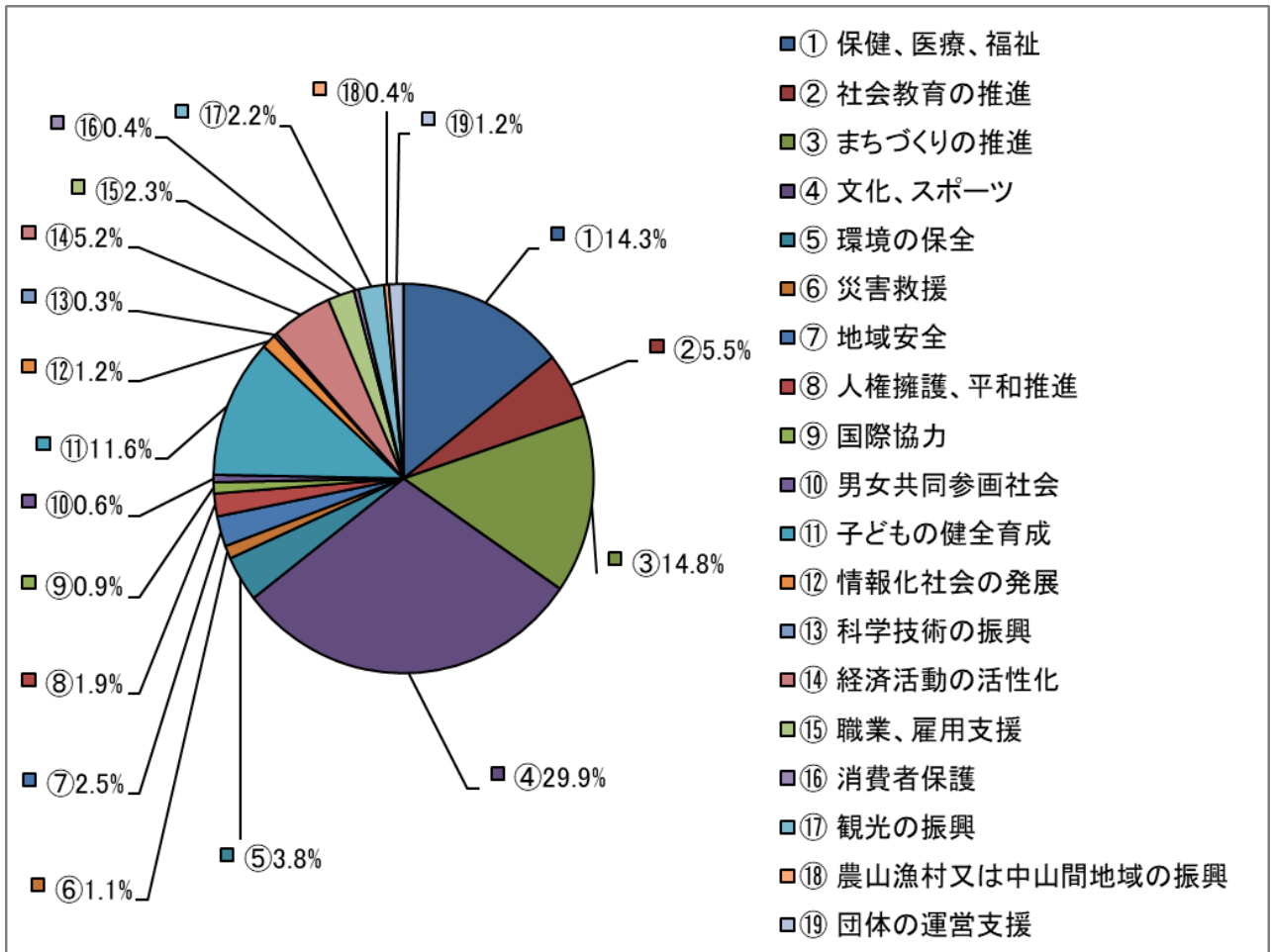
活動分野については、例年“文化、スポーツ”が最も多く、29.9%を占めており、続いて、“まちづくりの推進”が約14.8%、“保健、医療、福祉”が約14.3%となりました。

“文化、スポーツ”における協働数は、新型コロナウイルス感染症の収束につれて徐々に回復し、平成20年の調査開始当初の2倍以上まで増加していますが、活動分野の構成比は減少傾向にあります。これは近年“文化、スポーツ”に限らず、幅広い分野で協働を取り入れた事業が増加してきたことによるものと考えられます。

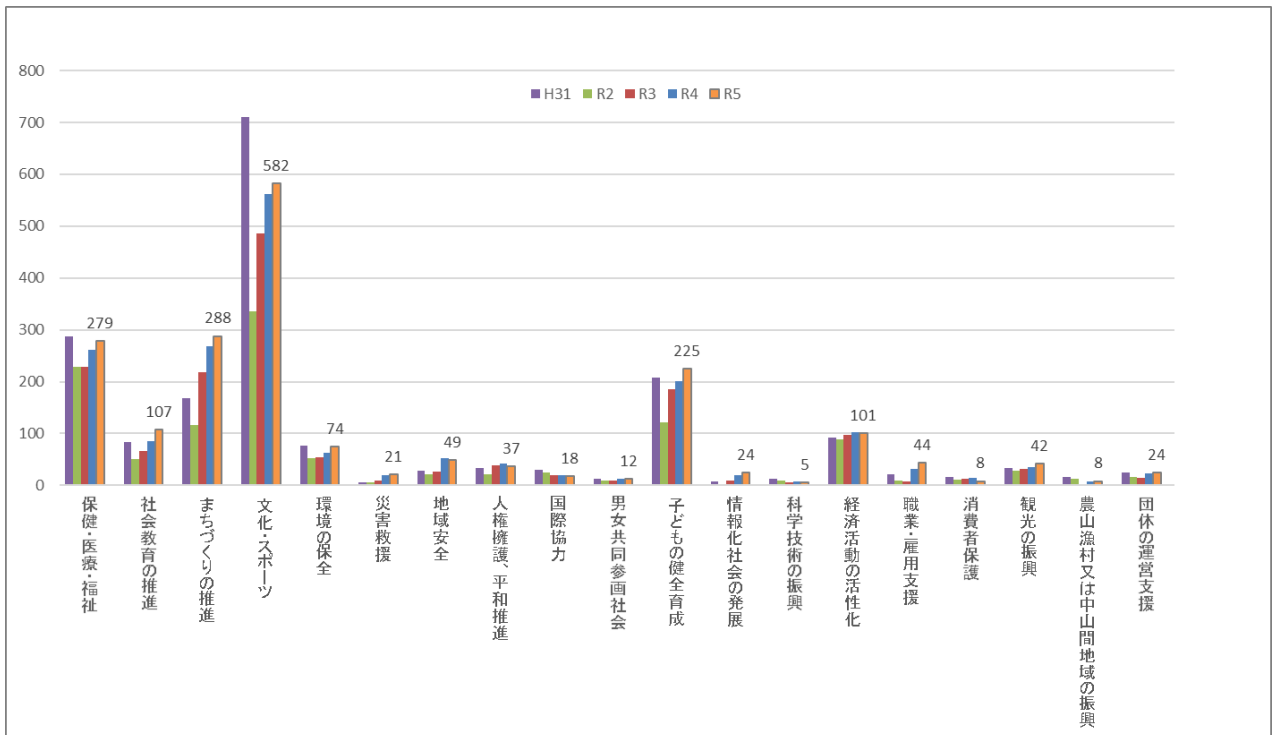
なお、前年と比べて、“保健、医療、福祉”、“まちづくりの推進”、“環境の保全”、“職業、雇用支援”でそれぞれ10件以上の増加、“子どもの健全育成”、“社会教育の推進”、“文化、スポーツ”でそれぞれ20件以上の増加となりました。

① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	279	14.3%
② 社会教育の推進を図る活動	107	5.5%
③ まちづくりの推進を図る活動	288	14.8%
④ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	582	29.9%
⑤ 環境の保全を図る活動	74	3.8%
⑥ 災害救援活動	21	1.1%
⑦ 地域安全活動	49	2.5%
⑧ 人権の擁護又は平和の推進を図る活動	37	1.9%
⑨ 国際協力の活動	18	0.9%
⑩ 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	12	0.6%
⑪ 子どもの健全育成を図る活動	225	11.6%
⑫ 情報化社会の発展を図る活動	24	1.2%
⑬ 科学技術の振興を図る活動	5	0.3%
⑭ 経済活動の活性化を図る活動	101	5.2%
⑮ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	44	2.3%
⑯ 消費者の保護を図る活動	8	0.4%
⑰ 観光の振興を図る活動	42	2.2%
⑱ 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	8	0.4%
⑲ 公益活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	24	1.2%

※ 上記分類は、特定非営利活動促進法上の特定非営利活動を参考にしたものです。



【経年変化】



### (3) 協働の相手方

協働の相手方については、“実行委員会、協会、協議会（社会福祉協議会、コミュニティ協議会等を除く。以下同様。）”が18.7%を占めており、続いて“NPO（任意団体等）”が12.7%、“企業”が10.9%となりました。

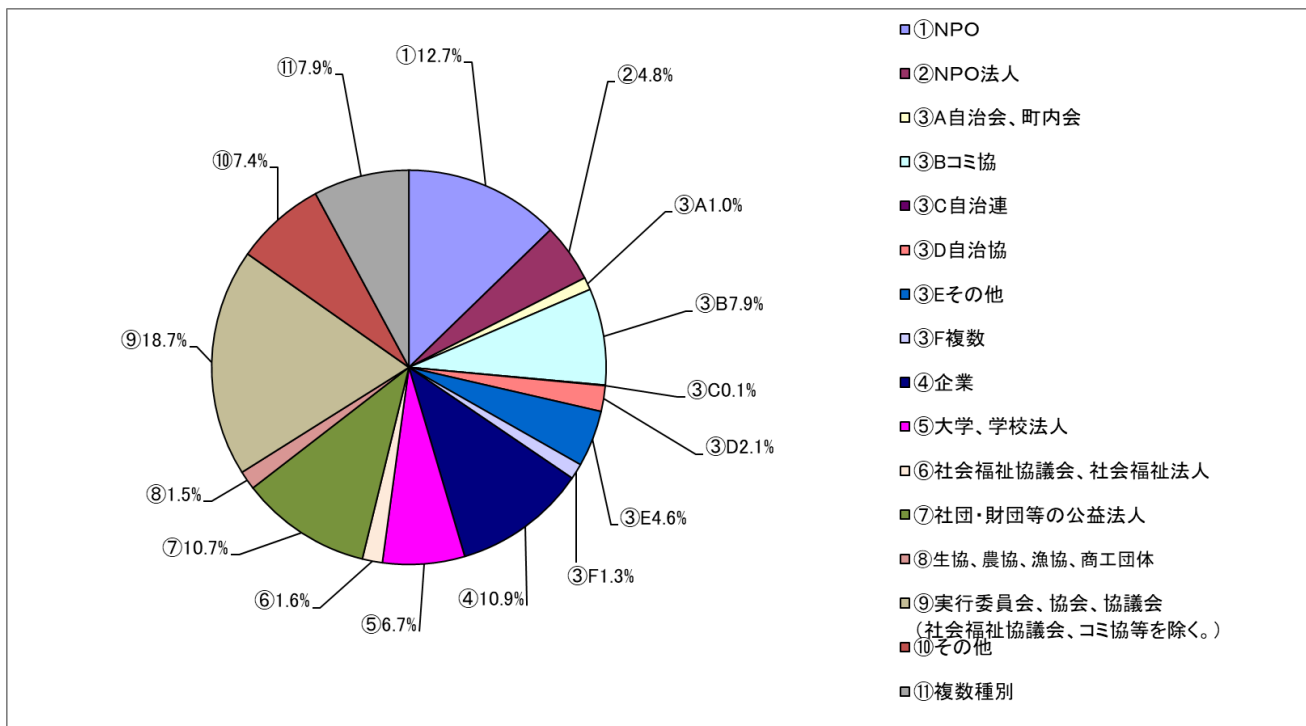
“実行委員会、協会、協議会”については、全364件のうち“文化、スポーツ”の活動が最多の164件、続いて、“職業、雇用支援”、“子どもの健全育成”、“保健、医療、福祉”の3つ分野における活動がそれぞれ約30件となっています。

“NPO（任意団体）”については、全248件のうち135件が“文化、スポーツ”の活動となっており、主に“共催”や“後援”といった形態で実施されています。

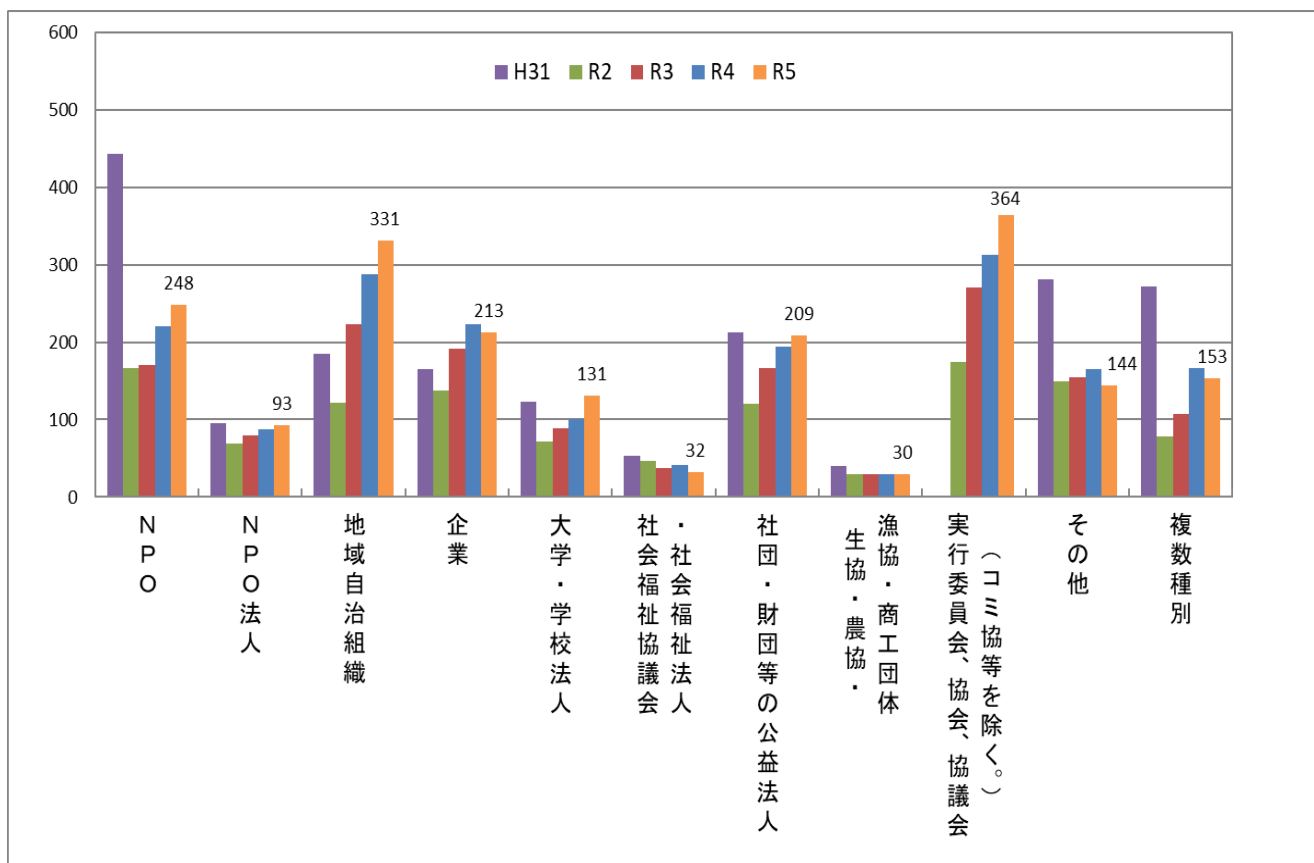
“企業”については、全213件のうち“文化、スポーツ”が54件、“保健、医療、福祉”が50件となっており、2つの分野で全体の約5割を占めています。主な協働形態としては、“事業協力”、“後援”、“公の施設の管理”が挙げられます。

また、平成30年をピークに減少していた“大学・学校法人”が、前年と比べ31件増加しました。SDGsの普及啓発、食育の推進、にいがた2km×8区連携に関する事業など幅広い分野において協働事業が実施されました。

① NPO（任意団体等）	248	12.7%
② NPO 法人	93	4.8%
③ 地域自治組織 A 自治会、町内会	20	1.0%
B コミュニティ協議会	154	7.9%
C 自治連合会	1	0.1%
D 自治協議会	41	2.1%
E その他（PTA、老人クラブ、 青少年育成協議会など）	90	4.6%
F 複数（地域自治組織のみ）	25	1.3%
④ 企業	213	10.9%
⑤ 大学、学校法人	131	6.7%
⑥ 社会福祉協議会、社会福祉法人	32	1.6%
⑦ 社団・財団等の公益法人	209	10.7%
⑧ 生協、農協、漁協、商工団体	30	1.5%
⑨ 実行委員会、協会、協議会（社会福祉協議会、コミュニティ協議会等を除く。）	364	18.7%
⑩ その他	144	7.4%
⑪ 複数種別	153	7.9%



【経年変化】

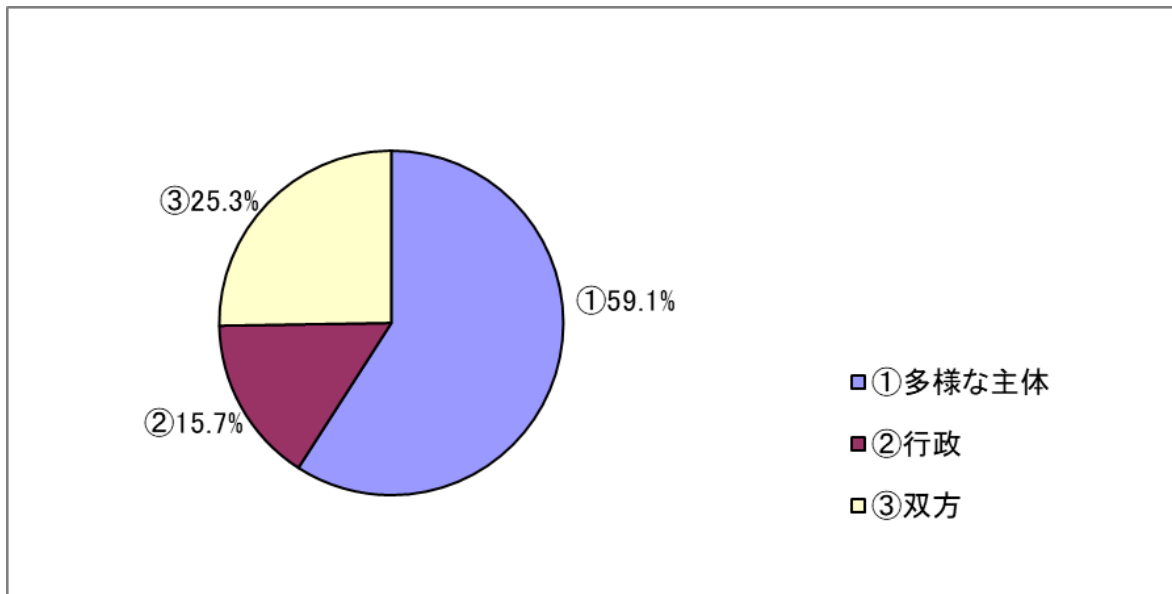




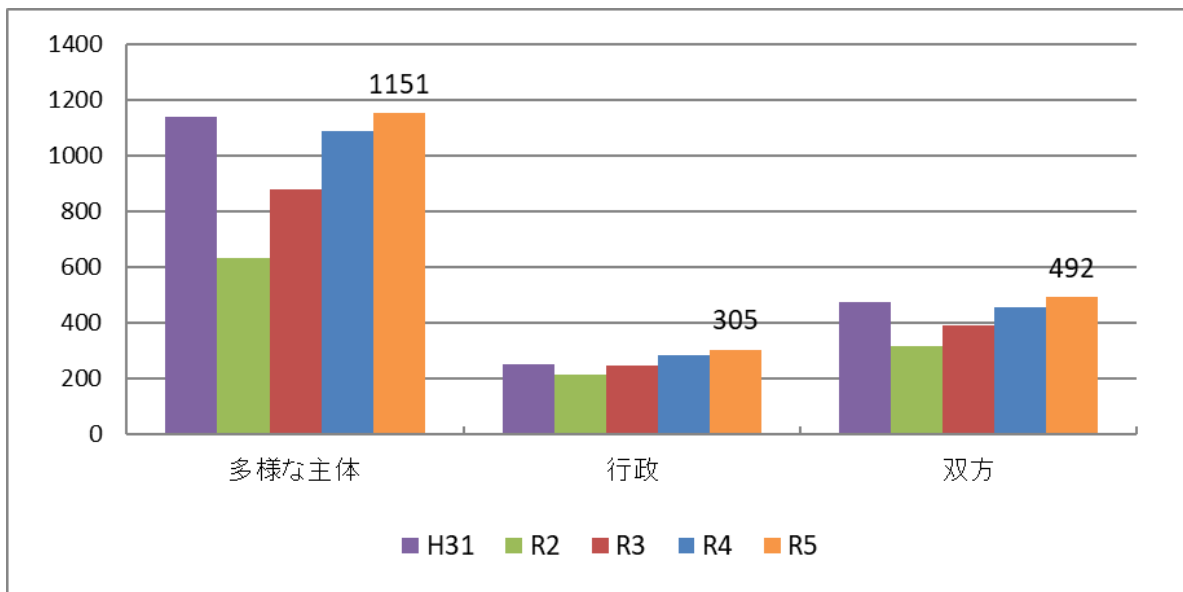
#### (4) 事業主体

事業主体については、協働の相手方が主体となった事業が前年と比べ 65 件増加し、全体の約 6 割を占めています。また、構成比にほとんど変化はありませんでした。

① 多様な主体	1151	59.1%
② 行政	305	15.7%
③ 双方	492	25.3%



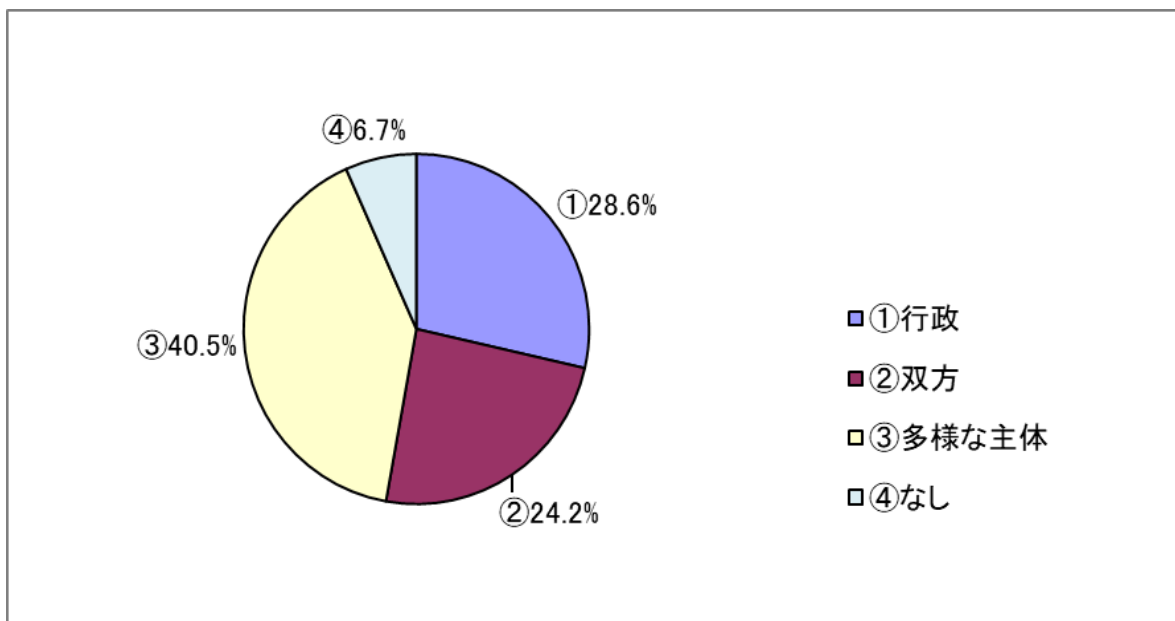
#### 【経年変化】



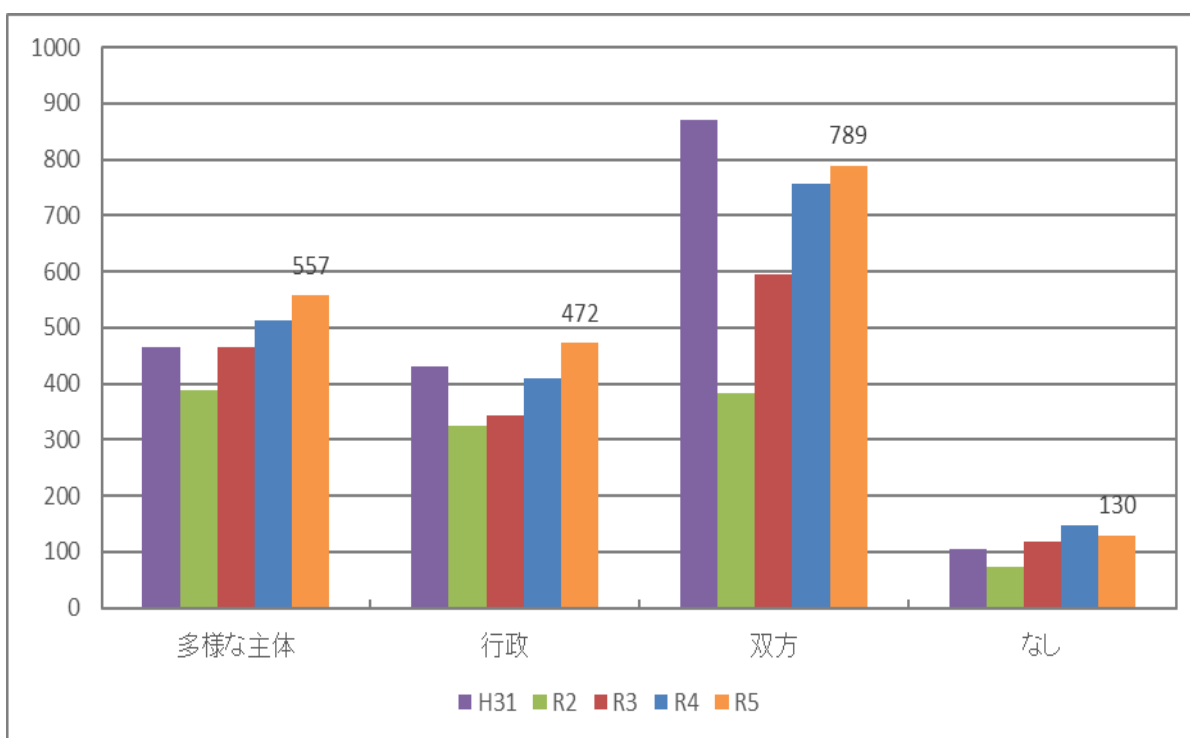
### (5) 費用負担

費用負担については、例年、双方が費用を負担する事業が全体の約4割を占めています。また、費用負担のない事業が前年と比べ18件減少し、130件となりました。

① 多様な主体	557	28.6%
② 行政	472	24.2%
③ 双方	789	40.5%
④ なし	130	6.7%



### 【経年変化】



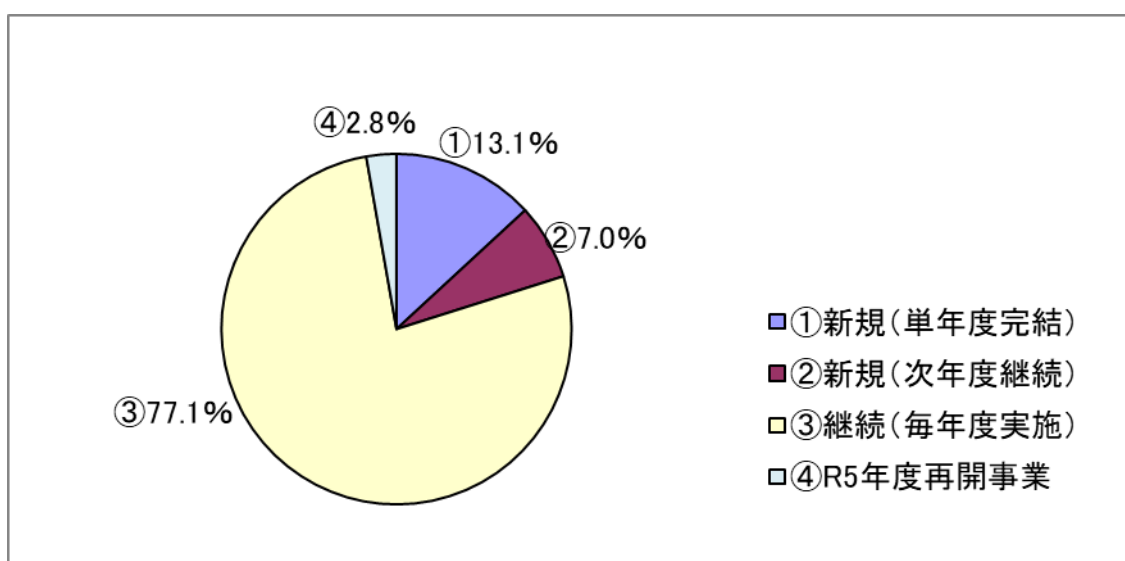
## (6) 新規・継続の別

新規事業は前年と比べ 55 件増加し、392 件となりました。

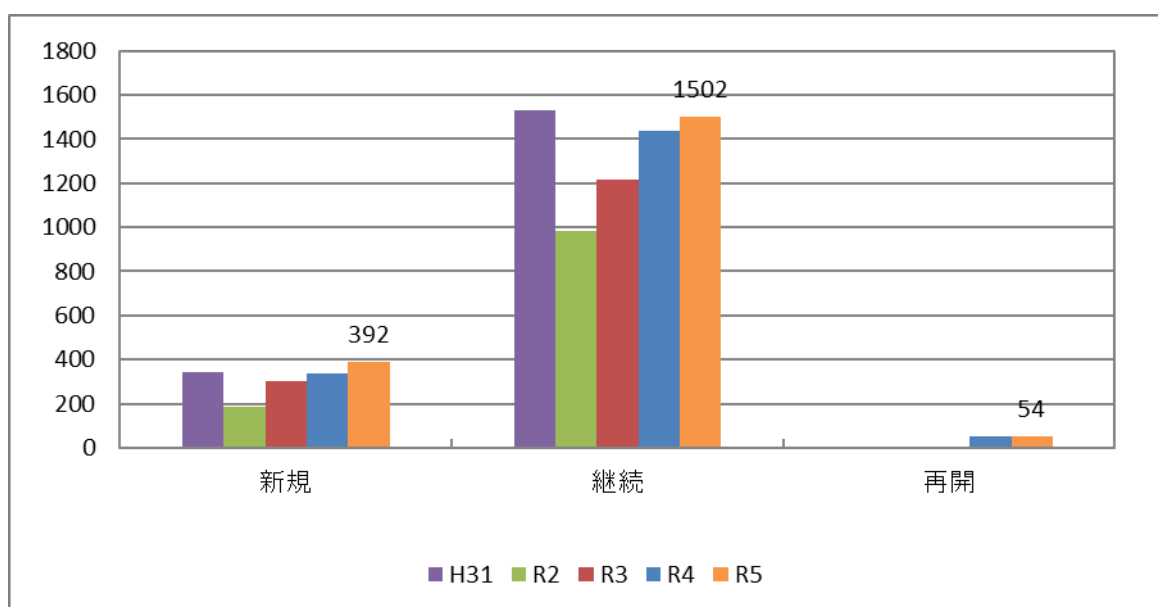
令和 4 年度は新規事業の約 26%が次年度継続であったことに対し、令和 5 年度は約 35%が次年度継続となりました。

また、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したものの、再開事業の件数は前年とほぼ変わらず 54 件となりました。

① 新規（単年度完結）	256	13.1%
② 新規（次年度継続）	136	7.0%
③ 継続（毎年度実施）	1502	77.1%
④ R5 年度再開事業	54	2.8%



## 【経年変化】

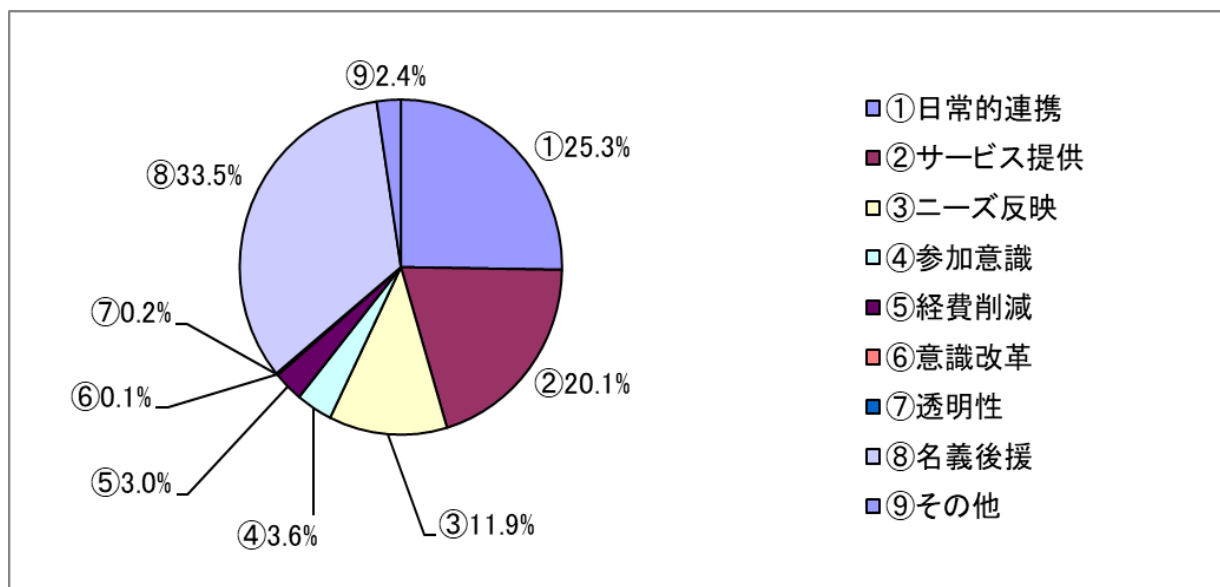


## (7) 経緯

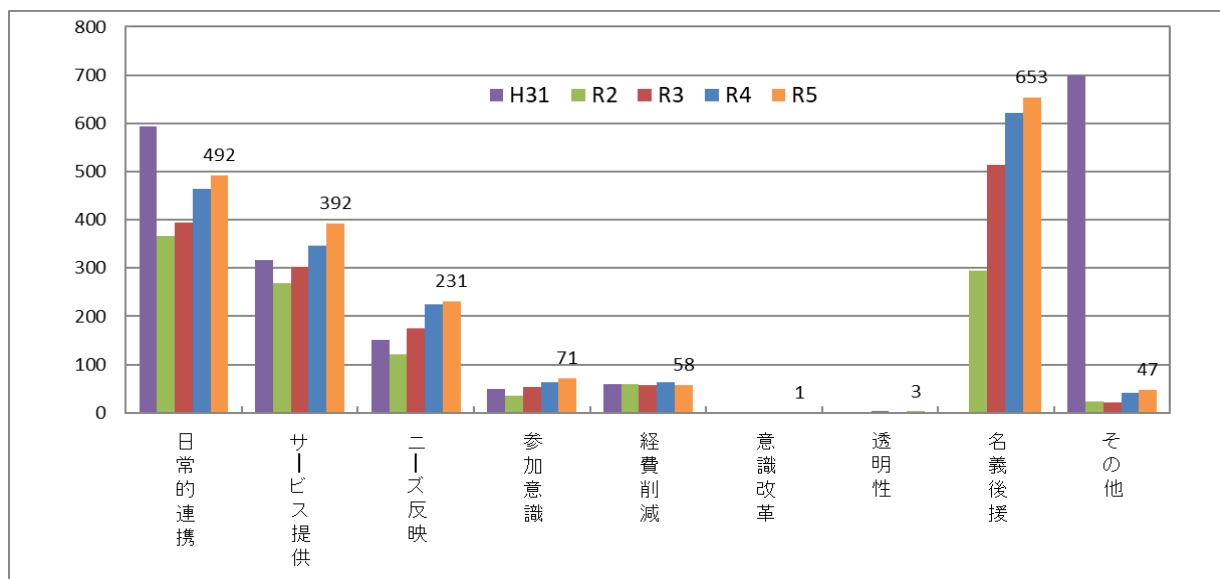
経緯については、“サービス提供”が前年と比べ45件増加しました。

コロナ禍前と比べ“日常的連携”は減少していますが、地域課題の多様化・複雑化により行政だけで解決に取り組むことが難しくなってきたことから、“サービス提供”は増加傾向にあります。

① 日頃からつながりがあり、提案があった(した)・・・	492	25.3%
② 行政では取り組むことが難しいサービスの提供・・・	392	20.1%
③ 市民のニーズを反映させることができる・・・	231	11.9%
④ 市民参加意識が高まる・・・	71	3.6%
⑤ 行政経費を削減できる・・・	58	3.0%
⑥ 行政職員の意識改革につながる・・・	1	0.1%
⑦ 事業の透明性を高めることができる・・・	3	0.2%
⑧ 事業の趣旨に賛同(名義後援)・・・	653	33.5%
⑨ その他・・・	47	2.4%



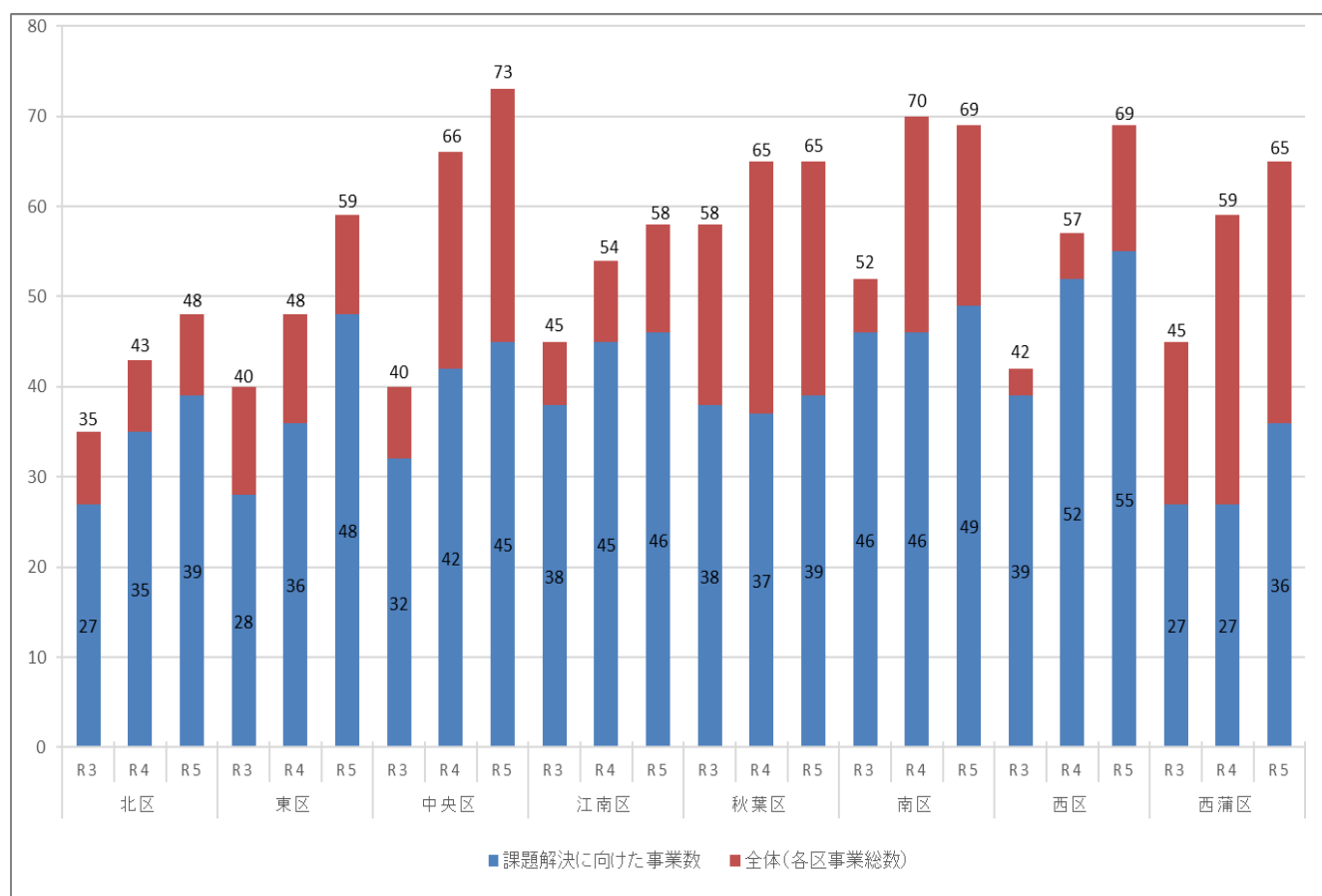
## 【経年変化】



## (8) 区の課題解決

各区において実施された協働事業全 506 件のうち 357 件、約 70.6%が区の課題解決に向けた事業となりました。全ての区において“課題解決に向けた事業数”が全体（各区事業総数）の 5 割以上を占めており、北区、東区、江南区、西区では約 8 割を占める結果となりました。

区	課題解決に向けた事業数	全体（各区事業総数）	割合
① 北区	39	48	81.3%
② 東区	48	59	81.4%
③ 中央区	45	73	61.6%
④ 江南区	46	58	79.3%
⑤ 秋葉区	39	65	60.0%
⑥ 南区	49	69	71.0%
⑦ 西区	55	69	79.7%
⑧ 西蒲区	36	65	55.4%



【別表1】

多様な主体との協働に関する調査(R5実施事業等) - 協働形態別件数一覧 -

(単位:件)

	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		意見交換・ 情報交換	企画立案 への参画	事業協力	補助	事業委託	公の施設 の管理	実行委員 会	共催	後援
<b>全市計</b>	<b>1948</b>	<b>135</b>	<b>55</b>	<b>358</b>	<b>150</b>	<b>134</b>	<b>143</b>	<b>101</b>	<b>207</b>	<b>665</b>
政策企画部	9	4	2	2				1		
市民生活部	46	3		12	12	11		1		7
危機管理防災局	9			3	1	2				3
文化スポーツ部	240	1	1	14	6	5	9	25	6	173
観光・国際交流部	30			2	11	1		4	3	9
環境部	36	2		10	3	2	4	4	4	7
福祉部	53	2	5	5	19	12	1	1	1	7
子ども未来部	29				1	2	1		1	24
保健衛生部	112	4	7	37	18	15	4		4	23
経済部	57	3		5	22	8	4	2	5	8
農林水産部	38	2	1	12	3	14	2	2	1	1
都市政策部	16	1	1		2		1	2	2	7
建築部	14		1	4	1	2	2			4
土木部	7			5	1			1		
下水道部	1			1						
総務部	10		2	2	1				3	2
財務部	0									
北区	48	8	3	9	4	5	8	6	2	3
東区	59	12	1	10	4	5	18	3	6	
中央区	73	17	2	7	5	17	12	7	6	
江南区	58	11	1	11	8	2	11	7	6	1
秋葉区	65	12	3	14	4	8	20	3	1	
南区	69	14	1	11	6	6	19	6	5	1
西区	69	16	1	22	5	3	12	3	5	2
西蒲区	65	10	1	19	5	6	15	3		6
会計課	0									
消防局	7	2		4	1					
水道局	0									
市民病院	0									
議会事務局	0									
教育委員会事務局	726	11	22	137	7	8		20	144	377
選挙管理委員会事務局	2								2	
人事委員会事務局	0									
監査委員会事務局	0									
農業委員会事務局	0									

※10件以上の箇所に網掛けしています。

【別表2】

多様な主体との協働に関する調査(R5実施事業等) - 活動分野別件数一覧 -

(単位:件)

	計	1 保健、 医療又 は福祉 の増進 を図る 活動	2 社会教 育の推 進を図 る活動	3 まちづ くりの 推 進を図 る活動	4 学術、 文化、 芸術又 はスポ ーツの 振興を 図る活 動	5 環境の 保全を 図る活 動	6 災害救 援活動	7 地域安 全活動	8 人権の 擁護又 は平和 の推進 を図る 活動	9 国際協 力の活 動	10 男女共 同参画 社会の 促進を 図る活 動	11 子ども の健全 育成を 図る活 動	12 情報化 社会の 発展を 図る活 動	13 科学技 術の振 興を図 る活動	14 経済活 動の活 性化を 図る活 動	15 職業能 力の開 発又は 雇用機 会の拡 充を支 援する 活動	16 消費者 の保護 を図る 活動	17 観光の 振興を 図る活 動	18 農山漁 村又は 中山間 地域の 振興を 図る活 動	19 公益活 動を行 う団体 の運営 又は活 動に関 する連 絡、助 言又は 援助の 活動
全市計	1948	279	107	288	582	74	21	49	37	18	12	225	24	5	101	44	8	42	8	24
政策企画部	9			5						1					3					
市民生活部	46			6				10	12		9						5			4
危機管理防災局	9						5	1	1		1	1								
文化スポーツ部	240			1	238								1							
観光・国際交流部	30				4					13									13	
環境部	36	4				32														
福祉部	53	50		3																
こども未来部	29											29								
保健衛生部	112	101		1		3			5											2
経済部	57			4	8										37	8				
農林水産部	38	3			2							1			28				3	1
都市政策部	16			14		1										1				
建築部	14			8	1		2	1							1		1			
土木部	7			4		3														
下水道部	1			1																
総務部	10		1		1				5				1							2
財務部	0																			
北区	48	3		13	11	5	1	4				1			4				3	3
東区	59	16	1	27	4	3	2	3				3								
中央区	73	22		26	9	4	3	3				1			2				1	2
江南区	58	13		25	9		2	3				1			4				1	
秋葉区	65	2		35	9	2		1				3			5				6	2
南区	69	8		33	15			2				5							6	
西区	69	11	4	26	7	3	3	7							3				1	4
西蒲区	65	18	1	15	7	2		4				1							11	5
会計課	0																			
消防局	7						2	5												
水道局	0																			
市民病院	0																			
議会事務局	0																			
教育委員会事務局	726	28	100	39	257	16	1	5	14	4	2	178	23	5	13	36			2	3
選挙管理委員会事務局	2			2																
人事委員会事務局	0																			
監査委員事務局	0																			
農業委員会事務局	0																			

※10件以上の箇所へ網掛けしています。